

科目名	臨床評価学実習（作業療法）	担当教員	三宅 環※ 山田 恭平※ 佐々木 努※ 久保 勝幸※ 松田 竜幸※ 佐藤 拓也※ 泊り由希子※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	---------------	------	---

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
作業療法学専攻	専門科目	選択	3年次	前期	4単位	実習
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR32F	①、②、③、④					

科目概要	臨床評価学実習では、実習施設において臨床実習指導者のもと、対象者に対する作業療法評価の一連の過程を実習する。対象者と適切に対応し、リスク管理を的確に行いつつ、対象者の障害を把握する科学的な観察力を、実践を通して養う。
学習目標	① 必要な情報収集、面接観察および検査測定を選択して実施する。 ② 評価手段によって得られた結果を個々に分析する。 ③ 分析結果をもとに統合解釈を経験して評価の意義を理解する。 ④ 評価過程を適切に記録し、報告する。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	臨床実習 1	実習施設における実習（第1週）	上記学習目標①～④	臨床実習 指導者
2	臨床実習 2	実習施設における実習（第2週）	〃	臨床実習 指導者
3	臨床実習 3	実習施設における実習（第3週）	〃	臨床実習 指導者
4	臨床実習 4	実習施設における実習（第4週）	〃	臨床実習 指導者
評価方法		臨床評価学実習評価表（80%）、実習報告会の内容（20%）		
課題に対するフィードバック		実習中は、実習指導者が随時フィードバックを行い、担当教員は実習指導者と密に連絡を取りながら必要に応じて学生にフィードバックを行う。 実習後は、個別に担当教員がフィードバックを行う。		
教科図書		なし		
参考図書		なし		
学習の準備		臨床評価学実習に臨むにあたって、これまでの学習内容を理解しておくこと また、実習施設より具体的な事前学習課題がある場合には、それに取り組むこと		
オフィスアワー		講義当日の16時30分～17時30分、講義翌週当日の16時30分～17時30分 ほか各担当教員から連絡する。		
担当教員欄に※印を 附した教員の 実務経験		民間病院において、臨床実習担当の指導・監督の下、作業療法の実務を見学・体験させる。		